

行政の窓

令和5年度林野庁関係当初予算等について

令和5年度林野庁予算は、令和4年12月23日付けで概算決定され、総額は、3,057億円（対前年度比102.7%）となりました。また、令和4年12月2日付けで、令和4年度補正予算が措置されました。

このうち、木材産業に関連する主な事業については、下記のとおりとなっております。

《令和4年度補正予算 主要事項の概要》

事業等名	対策のポイント	主な内容
国内森林資源活用・木材産業国際競争力強化対策 (一部公共) (49,891百万円)	木材製品の国際競争力強化や輸出目標達成に向けた木材産業の体質強化、原木の生産基盤整備、木材製品等の輸出・消費拡大や、海外情勢の影響を受けにくい需給構造構築に向けた国産材供給力の強化、国産の製品等への転換、木質バイオマス利用促進、きのこの生産資材高騰対策等を支援。	1 国際競争力・木材供給基盤強化対策 生産性向上や競争力のある製品生産等に向けた木材加工流通施設等の整備、原木の低コストかつ安定的・持続的な供給を図るとともに、急激な需要変化にも対応可能な原木供給体制の維持・拡大に向けた路網整備やデジタル技術を活用した森林資源情報の整備、高性能林業機械等の導入、間伐材生産、再造林、エリートツリー等の苗木の生産施設整備等を支援。 2 木材製品等の輸出支援対策 輸出先国のニーズや規格・基準に対応するための性能検証、輸出先国におけるプロモーション活動、特用林産物の販売促進やきのこの知的財産保護等の取組を支援。 3 木材製品の消費拡大対策 非住宅分野等における消費拡大を推進し、木材製品の国際競争力を高めるため、CLTを活用した建築物等の実証、木質建築部材の技術開発、JAS構造材の利用実証や外構部等木質化の実証等を支援。 4 国内森林資源活用・建築用木材供給力強化対策 国産の製品の供給体制強化に向けた木材加工流通施設の等の整備、原木供給力の強化に向けた高性能林業機械の導入、住宅分野における建築用木材の国産の製品等への転換、燃油や資材の価格高騰や供給難への対応として木質バイオマスエネルギーへの転換、きのこ生産者に対する省エネ機器等の導入支援や次期生産に必要な生産資材の導入費の一部支援による体質強化を支援。

《令和5年度予算 主要事項の概要》

事業等名	対策のポイント	主な内容
森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策 (9,756百万円)	カーボンニュートラルを見据えた森林・林業・木材産業によるグリーン成長を実現するため、木材加工流通施設の整備、路網の整備、高性能林業機械の導入、間伐や再造林、都市部における木材利用の強化、輸出を含む新たな需要の創出、「新しい林業」経営モデルの構築、国民運動等の展開等、川上から川下までの取組を総合的に支援。	1 林業・木材産業循環成長対策 (1) 林業・木材産業生産基盤強化対策 木材加工流通施設、木質バイオマス利用促進施設、特用林産振興施設、木造公共建築物の整備、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐、林業の多様な担い手の育成 等 (2) 再造林低コスト化促進対策 低コスト再造林対策、エリートツリー等の採取園の整備、コンテナ苗生産基盤施設の整備 等 2 木材の安定供給・利用拡大 (1) 建築用木材供給・利用強化対策 都市部における木材利用の強化、建築用木材の持続的・安定的な供給体制の強化、製材やCLT等の建築物への利用環境整備 (2) 木材需要の創出・輸出力強化対策 非住宅等での木の効果の見える化、地域の輸出体制づくり、海外における木造技術講習会の開催、国別・地域別の合法伐採木材関係情報の提供、特用林産物の需要拡大・生産性向上 等 3 「新しい林業」に向けた林業経営育成対策 国民の幅広い参画による植樹等の森林づくりの推進、建築物等での木材利用拡大の機運醸成、森林クレジット創出拡大に係る取組 等 4 カーボンニュートラル実現に向けた国民運動展開対策 国民の幅広い参画による植樹等の森林づくりの推進、建築物等での木材利用拡大の機運醸成、森林クレジット創出拡大に係る取組 等 5 林業・木材産業金融対策 意欲と能力のある経営者等が行う設備投資等に対する融資の充実・円滑化を図り、木材の安定供給の構築等を支援

※ 詳細については、次の林野庁ホームページをご参照ください。

令和5年度当初予算： <http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/5gaisan.html>

令和4年度補正予算： <http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/R4hosei.html>

(水産林務部林務局林業木材課林業木材係)